

はじめに



2025年には、団塊の世代が後期高齢者となり、医療と介護の両方を必要とする高齢者、認知症高齢者、ひとり暮らし高齢者などが大幅に増加し、また、2040年頃には高齢者人口がピークを迎え、労働人口の減少が予測されています。本市においても高齢者人口の増加や労働人口の減少は、全国と比べると緩やかではありますが、確実に進行していくことが見込まれています。

こうした中、地域住民主体の見守り活動などを専門職などと共に支える『安城市版地域包括ケアシステム』を推進し、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができることを目指してあんジョイプラン8を策定しました。

本市では、2013（平成25）年から、在宅医療と介護の連携を推進してまいりました。また、認知症の早期診断・早期対応に向け、認知症施策推進事業に取り組み、認知症高齢者とその家族が安心して暮らせるような環境整備を進めています。引き続き、これらの施策を重点として取り組んでまいります。

今後は、地域づくりなどの高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含め、健康づくりや生きがいづくりから介護保険サービスまで、多様な介護予防や適切な日常生活支援を推進するための体制を構築していきます。

また、高齢者を含むすべての人が安心して暮らすことのできる包括的な支援体制である地域共生社会の実現を目指してまいります。

この計画の実現には、医療・介護・福祉等の各関係機関との連携はもとより、市民の皆さまのご協力が不可欠となります。市民の皆さまと一体となって、計画の基本理念である「健康で生きがい・ふれあい・安心を育むまち」を目指して、計画の推進に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、計画策定に参画いただきましたあんジョイプラン8策定委員会の委員の皆さまをはじめ、貴重なご意見・ご指導を賜りました市民の皆さまや関係各位に厚くお礼を申し上げます。

2018（平成30）年3月

安城市長 神谷 学